

大原社会問題研究所雑誌

752 2021.6

THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

No. 752 June 2021

Special Issue : Germany and the Versailles System :

A Historical Reconsideration of the Political, Social,
and Economic Background of the Weimar Republic (2)

- The German-Lithuanian Agreement Concerning Inland Navigation 1923/1924 :
East Prussia and the Question of Navigation on the Neman River under the
Versailles System (II) SHINDO Rikako
- “New Trends” in Labor History Research in the Interwar Germany:
Based on Recent Findings of NSDAP’s Work Creation Programmes
..... MASUDA Tachihiko

Article

- Work-Related Activities Using ICT at Home and the Problem with Work-Life Balance
..... TAKAMI Tomohiro

Book Reviews

- SASAKI Kei, *The Age of “Sangyo Senshi (Industrial Warriors)” :
Labor Conscription and Dominant Order in Japan during Asia-Pacific War*
..... OKADO Masakatsu
- TATEMOTO Hiroyuki, *A Guide to Art Movements in Transition : The Postwar
Japanese Communist Party’s Origins in the Prewar Proletarian Cultural Movement*
..... MURATA Hirokazu

Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

Monthly Research Meeting NIIHARA Atsuhiko

The Institute’s Activities in February 2021

OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342, Aiharamachi, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan

web site : <http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>

e-mail : oharains@adm.hosei.ac.jp

編集(兼)発行人

法政大学大原社会問題研究所

〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042(783)2305

定価1,018円(本体926円+税10%)

年間購読 12,000円(税込)

大原社会問題研究所雑誌

七五二号 【特集】ヴェルサイユ体制下のドイツ、史的再考

二〇二一年六月

【特集】ヴェルサイユ体制下のドイツ、史的再考

——ヴァイマル共和国の政治、経済、社会(2)

- ドイツ・リトアニア間内陸水運に関する船舶航行協定, 1923/1924年
——ヴェルサイユ体制下の東プロイセンとメーメル河航行問題(Ⅱ)
進藤理香子 1
- 両世界大戦間期のドイツにおける労働史研究の「新展開」
——近年の研究における雇用創出政策に対する理解をてがかりに
栢田大知彦 34

■論文

- ホワイトカラー労働における自宅でのICT作業の実態と課題
——働く場所が柔軟化する中でのワーク・ライフ・バランス
高見具広 57

■書評と紹介

- 佐々木啓著『「産業戦士」の時代
——戦時期日本の労働力動員と支配秩序』
大門正克 77
- 立本紘之著『転形期芸術運動の道標
——戦後日本共産党の源流としての戦前期プロレタリア文化運動』
村田裕和 83

社会・労働関係文献月録 88

月例研究会 新原淳弘 92

所 報 2021年2月 93

発行／法政大学大原社会問題研究所

発売所／法政大学出版局 3330-55001-7710

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1

TEL 03(5214)5540

郵便振替口座 00160-6-95814

法政大学
大原社会問題研究所

ワーキング・ペーパー（旧調査研究報告）

ワーキング・ペーパーは、教育研究機関からのお申し込みに限り、無料で配布しております。
個人・一般の方には実費で頒布しています。入手ご希望の方・機関はご連絡ください。

No.

タイトル

（定価税込）発行年月

58

回想
戦後 大原社会問題研究所雑誌の歩み
早川征一郎著

（300円）2021年3月

57

柵橋小虎日記（昭和十九年）

（300円）2019年11月

56

堺利彦・近藤真柄・近藤憲二関係資料目録

（500円）2019年3月

55

持続可能な地域における社会政策策定にむけての事例研究
Vol.6——倉敷市の産業発展過程，公害訴訟和解，地域包括ケア調査報告——

（500円）2017年3月

54

持続可能な地域における社会政策策定にむけての事例研究
Vol.5——岡山県の産業政策と介護，倉敷市の地域医療調査報告——

（500円）2015年8月

法政大学大原社会問題研究所 〒194-0298 東京都町田市相原町 4342
tel:042-783-2305 fax:042-783-2311 https://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/

日本労働研究雑誌

No.730

2021年5月号

定価 937円(本体852円) 年間購読 11,244円(税込)

特集「教員の職場環境」

■提言
■論文

教員の職場環境
教員の過剰労働の現状と今後の課題
公立学校教員の労働時間概念——労働基準法を潜脱する改正給特法の問題
組織開発による教員の長時間労働是正の取り組み
——校長研修におけるチェンジエージェントの育成を通じて

広田 照幸
大内 裕和
高橋 哲
町支 大祐
辻 和洋
中原 淳
柳澤 尚利
内田 良
安藤 知子

■論文(投稿)
■書評
■論文Today

学校は変わるか——職員室の内と外から教師の働き方を考える
教員研修の現状と今後の職能開発の在り方
教員の人事考課に基づく昇給制度の運用と改定
——ある自治体の労使交渉に着目して
教員の職場環境の国際比較——OECD・TALIS から見えてくるもの
公立小中学校教員の生活満足度を規定する要因
原田謙 著『「幸福な老い」と世代間関係』
福祉国家の守護者たち
——緊縮財政下のイギリスにおける現場従事者のモラル・エコノミー

岩月 真也
杉浦健太郎
神林 寿幸
袖井 孝子
山邊 聖士
神林 龍

■フィールド・アイ

パリの日本人（2）（パリから②）

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23
☎ 03-5903-6255

——《法政大学大原社会問題研究所叢書》——

労働者と公害・環境問題

法政大学大原社会問題研究所／鈴木 玲 編著

有害物質は工場内では労働者が労働過程を通じて罹患する職業病として、工場外では地域住民が環境汚染を通じて罹患する公害病として現れる。これまで社会学分野において個別に議論されてきた〈労働〉と〈環境〉の問題を、国内外の事例をもとに学際的に考察し、職業病や公害に対して労働者・労働組合・市民団体・政党がどのように結びつき、どのような活動を展開してきたのかを探る論集。 ■A5判・上製・286頁／4180円

■ 主要目次 ■

はじめに（鈴木 玲）

第1部 環境運動，住民運動との接点
第1章 「問うこと」から「応答すること」へ
第2章 住民運動としての公害反対運動と労働運動

第2部 職場環境と職業病への取り組み
第3章 日本の労働組合の職業病・職業がん問題への取り組み
第4章 韓国ハイテク産業における職業病と労働者の健康をめぐる

第5章 労働運動の職場環境への取り組みとその限界

第3部 政治・政策アリーナにおける対応
第6章 政党はどのような公害観を持っていたか
第7章 1970年代における自動車排気ガス規制の再検討
第8章 労働組合運動と原子力発電

法政大学出版局

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3
TEL 03-5214-5540／FAX 03-5214-5542

http://www.h-up.com/
※表示価格は税込みです

労働の科学

Digest of Science of Labour

2021年4月号
76巻4号

4

定価 1,200 円(税込)
年間購読 13,000 円(税込)

【特集】東日本大震災から10年——今、考えること

◆被災地におけるアスベストリスク ……外山尚紀
◆ジェンダー視点で防災・復興の取り組みを考える
……………浅野幸子
◆大規模災害の経験から備えいく自治体消防
……………木津 等
◆東京電力廃炉資料館を訪ねて ……編集部
◆風化させないための情報発信の力…防災専門図書館

◆口絵 広がる参加型職場環境改善・4 ……仲尾豊樹

◆巻頭言 これからの労働科学研究所 働く人々・働く場の多様化に関する研究に期待 ……漆原 肇
◆今、チェルノブイリは チェルノブイリ原子力発電所周辺視察報告(4) ……千葉百子
◆漂流者たち(2) ……本田一成
◆「新青年」大原孫三郎(2) ……兼田麗子
◆労研アーカイブを読む・67 パーンアウトとワーク・エンゲイジメント ……椎名和仁
◆凡夫の安全衛生記・51「後押しされて」安全衛生対策予算 ……福成雄三

〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12
桜美林大学内 3 階

公益財団法人
大原記念労働科学研究所

TEL：03-6447-1435
FAX：03-6447-1436
HP：http://www.isl.or.jp/